

南開大学セメスター留学便り 10月 (教員版)

10月も終わり、セメスター留学も残り二ヶ月を切りました。学内の木々が色づいたと思
うまもなく枯れ葉が舞い始めました。学内の清掃も追いつかないようです。

今月の様子をお知らせします。

8日(火) 授業再開

国慶節の長い休暇は、初日の天津市内見学を除いて、各自自由行動となりました。半数
近い学生は、旅行社の手配した本学用の内蒙古ツアーに参加し、草原や砂漠を訪れました。

14日(月) 中間試験(第一回)

不合格者はおらず、平均点も高めでした。

16日(水) 黄崖関長城

取材日誌参照 <http://pr.kokugakuin.ac.jp/class/2013/10/16/222919/>

20日(日) HSK(任意受験)

21日(月) HSK補講開始(～11月25日)

12月のHSKに向け、これから毎週月曜日の午後に補講が行われます。

26日(土) 南開大学浜海学院での交流会

日本語科3年生の学生と交流しました。

行事の内容等については学生版に譲ります。

中間試験後には、全員対象の個人面談を行いました。一ヶ月以上経ち、こちらの生活に
はすっかり慣れ、とくに支障はないようですが、「家が恋しい」という学生もいました。

中国人学生や各国からの留学生と広く交流している学生もいれば、「もともと部屋にいる
方が好きなんです」と、あまり出かけない学生もいます。学生各自の性格も習慣も異なり、
中国に来たからと簡単に変わるわけでもありません。ただ、せっかく現地学修の機会を得
ているのだから、ここでしか得られない体験をして欲しいものです。学生自身もそれは重々
わかっているので、あとは行動に移せるかどうかになります。

月末の交流会は、「なかなか中国人の友達ができない」と言っていた学生にとっても、楽
しいものになったようです。あちらこちらで連絡先を交換したり、写真を撮ったりする姿
が見られ、中にはさっそく「来週遊びに行く約束をした」と言う学生もいました。

11月は二回目の試験やHSKに向けて勉強時間が増えていきますが、学修以外の面でも
充実した日々を送って欲しいと思います。

(引率 佐川記)